

取扱説明書

保証書付き

裏表紙が保証書になっています。

家庭用

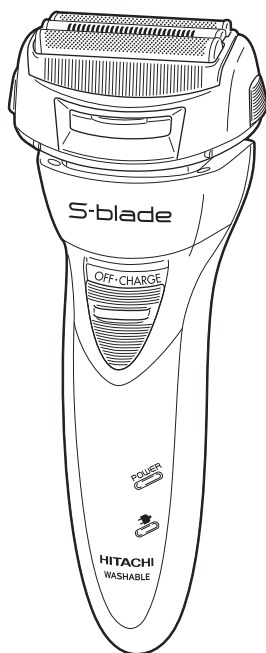
日立シェーバー

アール エム エフ ジェイ

型式 RM-F16J

5時間充電・交流式両用

お買い上げありがとうございます。
この「取扱説明書」をよくお読みになり
正しくご使用ください。お読みにな
った後は大切に保存してください。



特長

2枚のマルチアングル外刃+センター
トリマー+ファインカットトリマー
の4枚刃タイプ。

鋭角刃先のウェーブキャッチ刃で
なめらかな深ぞりを実現。

センタートリマーがヒゲをしっかり
捕らえます。

外内刃同時洗浄機構で簡単水洗い。



4526044010295

目次

ページ

使用前の準備	3~5
充電のしかた	3~5
蓄電池の性能を十分に発揮させるために	3
充電の時期	4
海外で電源アダプターを使用する場合	5
各部の名称と働き	6
安全上の注意	7~10
使用上の注意	10
使いかた	11~14
外刃でのそりかた	11
石けんぞり(シェービングフォーム)でのそりかた	12
交流式での使いかた	13
キワゾリ刃のそりかた	14
お手入れ	15~17
水洗い	15~17
ブラシでの掃除	17
外刃・内刃の取り替えかた	18
「故障かな」と思ったときは	19
保証とアフターサービス	20
仕様	21
消耗部品・別売り部品	21
製品を廃棄するときのお願い	22~23
蓄電池の取りはずしかた	23

使用前の準備

(つづく)

充電のしかた

初めてご使用になる前に充電してください。

電源は必ず交流100-240Vで、付属の電源アダプターをご使用ください。

充電推奨温度は10~35℃です。推奨温度を下回る温度では、充電反応が鈍くなり、十分充電されずに使用回数が少なくなる場合があります。

蓄電池には寿命があります。取扱説明書に従ってご使用いただいても、使用回数が極端に少なくなった場合は、電池の寿命が考えられます。電池の交換はお買い上げの販売店または19ページのお客様ご相談窓口にご相談ください。
(電池寿命は使用・保存状態によっても大きく変化します。)

警告



ぬれた手で電源アダプターをコンセントに抜き差ししない。
(感電・けがの原因)



電源アダプターは浴室など水のかかるところや、湿気の多いところでは使用しない。(感電・ショートの原因)



本体は水滴を十分にふき取り、乾燥させて充電する。
(ショート・発熱によるやけどの原因)
本体ソケットに水滴が付いている場合は、ふき取って乾燥させる。

蓄電池の性能を十分に発揮させるために

お願い

使用の都度充電しないでください。充電催促ランプが消灯後、充電してください。

周囲温度が10~35℃で充電してください。

家庭用以外の電源での充電はしないでください。

3か月以上使用しなかった場合は、充電してからご使用ください。

シェーバーが動かなくなった場合でも、スイッチを「ON」にしたまま放置しないでください。

使用前の準備

1 スイッチを「OFF」にして電源アダプターを本体とコンセントに接続する。(図1)



充電時間は5時間です。

充電中、電源アダプターと本体が少し熱くなることがありますが、異常ではありません。

スイッチが「ON」になっていると充電できません。

蓄電池が放電していると充電表示ランプが点灯しない場合があります。そのまま充電を続けると充電表示ランプが点灯後に蓄電池への充電を開始します。

充電中やご使用中、テレビなどに雑音が入る場合は、別のコンセントをご使用ください。

2 充電完了後、電源アダプターをコンセントと本体から抜く。(図2)

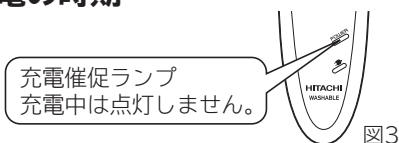


1回の充電で約10日間使用できます。

(1日3分間の使用)

ヒゲの濃さ、肌にあてる力、お手入れのしかた、周囲温度が低いなど使用条件によっては、使用回数が少なくなることがあります。

充電の時期



運転中に充電催促ランプ「POWER」(オレンジ色)が消灯しますと、充電催促の表示です。

早めに充電してください。

(図3)

海外で電源アダプターを使用する場合

この商品は交流100-240V電源でAプラグのコンセントが使用できます。

同一国内でも地域により電圧およびプラグ形状が異なる場合がありますので、現地のホテルや旅行社などに相談し十分お確かめください。

プラグアダプターを使用する場合は、使用される商品の消費電力に見合う容量のものをご使用ください。購入される場合は空港などの免税店や現地のホテル・旅行社などにご相談ください。Aプラグ地域ではプラグアダプターなしで使用できます。(図4)

付属の電源アダプター

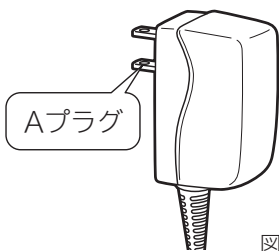


図4

プラグアダプターのおもな種類 (図5)
本品には付属していません。

Cタイプ	B3タイプ	BFタイプ	Oタイプ

図5

警告



交流100-240V以外の電源は使用しない。
(火災・感電の原因)

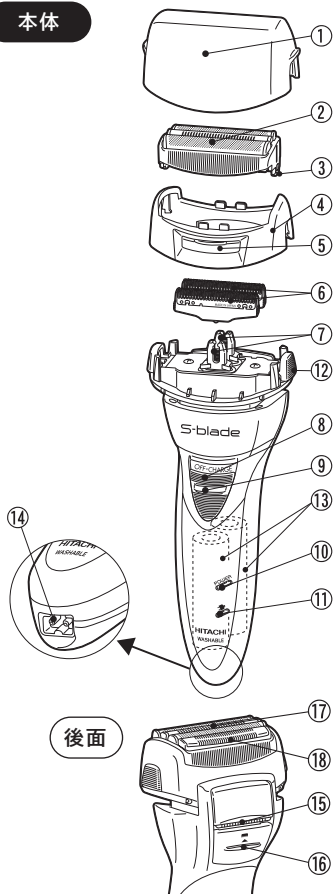
注意



使用前に必ずコンセントの電圧を確かめる。
(火災・感電の原因)

各部の名称と働き (図6)

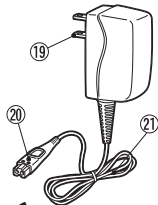
本体



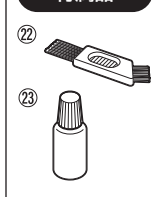
後面

電源アダプター

型式：KH-48



付属品






- | | |
|----------------|--|
| ① キャップ | 外刃を保護します。 |
| ② 外刃 | 替刃 K-F35S
2つの網刃と2つのトリマーの4枚刃構造で長毛やくせ毛の補毛効果をよりアップさせます。 |
| ③ 外刃着脱つまみ | |
| ④ 外刃ホルダー | |
| ⑤ ウォーターウィンドウ | |
| ⑥ 内刃 | 替刃 K-W22U |
| ⑦ 内刃ホルダー | |
| ⑧ スイッチ | ロックボタンを押しながらスライドさせます。 |
| ⑨ ロックボタン | |
| ⑩ 充電催促ランプ | 「POWER」(オレンジ色)ランプが消灯しますと充電催促の表示です。
・充電中は点灯しません。 |
| ⑪ 充電表示ランプ (■) | 充電中：点灯(赤色)
充電完了後：消えません。 |
| ⑫ 外刃ホルダー取外しボタン | 使用中は押さないでください。 |
| ⑬ 蓄電池(内蔵) | ニッケル水素電池 2本 |
| ⑭ 本体ソケット | |
| ⑮ キワソリ刃 | 外刃ではそりにくい長く伸びたヒゲをそるときや、ヒゲ・モミアゲ・えり足などを整えるときに使用します。 |
| ⑯ キワソリつまみ | 上へスライドさせます。 |
| ⑰ センタートリマー | ヒゲをしっかり捕らえます。 |
| ⑱ ファインカットトリマー | |
| ⑲ 電源プラグ | コンセントに根元まで差し込みます。 |
| ⑳ 器具用プラグ | |
| ㉑ コード | |
| ㉒ 掃除用ブラシ | |
| ㉓ シェーバーオイル | 付属のシェーバーオイルを使い切った後は、別売の潤滑剤(シェーバークリーナー SC-51H)をお買い求めください。 |

図6










安全上の注意 必ずお守りください。

(つづく)

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや周囲の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度。
 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害(家屋・家財など)の発生が想定される危害・損害の程度。

< 絵表示の例 >

	 記号は、「禁止」(しないでください)を示しています。  「分解禁止」  「水場での使用禁止」  「水ぬれ禁止」
	 記号は、「強制」(必ずしてください)を示しています。  「必ず守る」  「電源プラグをコンセントから抜く」

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

安全上の注意 必ずお守りください。

警告



禁止

交流100-240V以外の電源は使用しない。(火災・感電の原因)

電源プラグや器具用プラグにピンやゴミを付着させない。
(感電・ショート・発火の原因)

電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは
使用しない。(感電・ショート・発火の原因)

子供の手の届くところに置かない。(事故やけがの原因)

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじつたり、たばねたり、重い物を載せたり、はさみ込んだり、加工したり、電源アダプターなどに巻きつけたりしない。
(電源コードが損傷し、火災・感電の原因)



水ぬれ禁止

電源アダプターは絶対に水洗いしない。また、水につけたり、水をかけたりしない。(ショート・発熱によるやけどの原因)

交流式で使用する場合は、石けんぞりや水洗いをしない。
(感電・ショートの原因)



水場での
使用禁止

電源アダプターは、浴室など水のかかるところや、湿気の多いところでは使用しない。(感電・ショートの原因)



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は必ず電源アダプターを本体とコンセントから抜く。また、ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししない。(感電・けがの原因)



分解禁止

改造はしない。修理のための分解はしない。修理技術者以外の人は修理しない。(火災・感電・けがの原因)

・修理は販売店にご相談ください。

⚠ 注意



必ず守る

使用前に外刃の破れや変形がないか確認する。(肌を傷つける原因)
 ・外刃は使用するたびに徐々に磨耗し、使用中に破損して肌を傷つけることがあります。早めに別売りの替刃と交換してください。

付属の電源アダプター以外は使用しない。また、付属の電源アダプターで他の商品を充電しない。
 (ショート・異常発熱による発火の原因)

器具用プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグ部分を持って抜く。(感電・ショート・発火の原因)

電源プラグや器具用プラグにほこりが付着しないよう定期的に掃除する。(感電・ショート・発火の原因)

耳や鼻に直接キワゾリ刃を当てない。(耳や鼻を傷つける原因)

肌に吹出物や傷などがある場合は、使用時に注意する。
 (肌を傷つける原因)

本体は水滴を十分にふき取り、乾燥させて充電する。
 (ショート・発熱によるやけどの原因)

乾燥後は、必ずシェーバーオイルを外刃とキワゾリ刃に注油する。(切れ味の低下、使用回数の減少、外刃が磨耗して早期破損、刃の発熱などの原因)

シェーバーオイルを万一飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませて吐かせ、医師に相談する。(体調を損う原因)

シェーバーオイルが誤って目に入った場合は、ただちに流水で十分に洗い流し、医師に相談する。(目に障害を負う原因)

使用後は、湿気の少ないところに保存する。(浴室などに放置すると本体内部で結露やさびが発生して、機器の故障の原因)

使用後は必ずキャップを取りつける。(外刃の破損や変形により肌を傷つける原因)

安全上の注意 必ずお守りください。

注意



必ず守る

本体ソケットに水滴が付いている場合は、ふき取る。

使用前に必ずコンセントの電圧を確かめる。(火災・感電の原因)



禁止

ヒゲそり専用です。ヒゲそり以外の目的(頭髮など)には使用しない。(肌を傷つけたり機器の寿命を早めたりする原因)

家族や他人との共用はしない。(感染や炎症の原因)

外刃は強く押さえない。(特に唇など肌を傷つけたり破損の原因)

内刃の刃先を素手で触れない。(指を傷つける原因)

外刃の一部だけでそったり、使用中に指や爪を外刃にあてない。(外刃が破損して肌を傷つける原因)



電源プラグ
を抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。
(けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)

使用上の注意

- ・クリーム状やジェル状のシェービング剤は使用しないでください。(刃の目づまりや故障の原因になります。)
- ・水中につけ置きしないでください。(機器が故障する原因になります。)
- ・使用の都度充電しないでください。シェーバーが動かなくなった場合スイッチを「ON」にしたまま放置しないでください。(蓄電池の性能を損なう原因になります。)
- ・直射日光の当たる所や高温になる所に放置したり乾燥させたりしないでください。(変形や防水ゴムの劣化により機器が故障する原因になります。)
- ・本体や電源アダプターをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。(変形や変色の原因になります。)

外刃でのそりかた

⚠ 注意



使用前に外刃の破れや変形がないか確認する。(肌を傷つける原因)

肌に吹き出物や傷がある場合は、ご使用時に注意する。
(肌を傷つける原因)

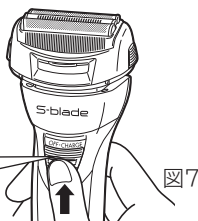


肌に強く押しつけない。
(特に唇など肌を傷つけたり、外刃破損の原因)

外刃の一部だけでそったり、使用中に指や爪を外刃にあてない。
(外刃が破損して肌を傷つける原因)

初めてお使いの場合は、軽く肌に当て少しずつ試しながらそってください。

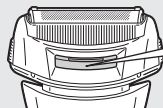
1 キャップをはずし、ロックボタンを押しながらスイッチを「ON」にする。(図7)



ロックボタンを押しながらスイッチを「ON」に

図7

ウォーターウィンドウが閉じていることを確認してください。開いたまま使用するとヒゲくずが飛び散る原因になります。



ウォーターウィンドウは閉じる。

2 ヒゲの流れに逆らって矢印方向に軽く滑らせるようにそる。(図8)

使用推奨温度は10～35℃です。推奨温度を下回る低温下で使用・保存すると動作しなかったり使用回数が少なくなる場合があります。

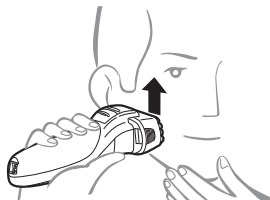


図8

じょうずな
そりかた

- 1 肌を手で伸ばしてヒゲを起こす。
- 2 外刃全体を肌に軽くあてる。
- 3 軽く当ててゆっくりとヒゲの流れに逆らって滑らせるようにそる。

外刃でそりにくい長く伸びたヒゲをそるときは、キワゾリ刃で長く伸びたヒゲを短くして外刃で仕上げます。

3 使用後は、スイッチを「OFF」にして、キャップをかぶせる。

使いかた

石けんぞり(シェービングフォーム)でのそりかた

⚠ 警告



交流式では石けんぞりはしない。(感電・ショートの原因)
肌に強く押しつけない。(特に唇など肌を傷つけたり、外刃破損の原因)

⚠ 注意



クリーム状やジェル状のシェービング剤は使用しない。
(刃の目詰まりや故障の原因)

市販のシェービングフォーム(泡状のもの)を使用すると、肌のすべりもよく、より深ぞりできます。

1 よく泡だてて顔につける。

2 ドライ(シェービングフォームを使わない)でそるときよりも、さらに軽く肌当てて、ゆっくりとヒゲの流れに逆らって滑らせるようにそる。(図9)

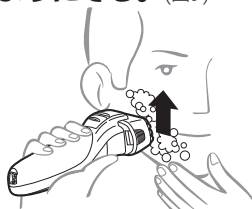


図9

シェービングフォームが乾くと、滑りが悪くなりますので適量追加してください。

3 使用後は必ず水洗いして石けん成分を洗い流す。

水洗いのしかたは「お手入れ」の15～17ページを参照してください。
石けん成分が残っていると、固まって内刃が動かなくなるなど機器の故障につながり、切れ味の低下・使用回数の減少などの原因になります。

4 お手入れ後は湿気の少ないところに保存する。

浴室などに放置しますと本体内部で結露やさびが発生して機器の故障の原因になります。

交流式での使いかた

警告

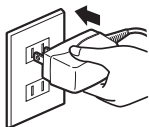


電源アダプターは浴室など水のかかるところや、湿気の多いところでは使用しない。(感電・ショートの原因)

交流式で使用する場合は、石けんぞりや水洗いをしない。
(感電・ショートの原因)

1 電源アダプターを本体とコンセントに接続して、スイッチを「ON」にする。(図10)

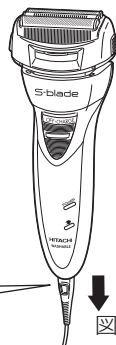
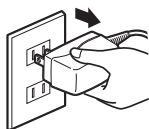
蓄電池が完全に放電していますと、起動しにくいときがあります。そのようなときは、スイッチを「OFF」にすると充電しますので、約1分間充電してからご使用ください。



裏面の
⊕⊖マーク
合わせて接続

図10

2 使用後は、スイッチを「OFF」にして、電源アダプターをコンセントと本体から抜く。(図11)



プラグ部分を
持って抜く

図11

使いかた

キワゾリ刃のそりかた

⚠ 注意



刃先に毛を一気に入れない。
(毛が引っぱられたり噛み込みが発生して切れ味低下の原因)

刃先は強く押しつけたり、横に滑らせない。
(肌を傷つける原因)

キワゾリつまみの上方に指をかけない。(収納時キワゾリ刃が当たります。指にキワゾリ刃が当たったまま、キワゾリつまみを押し下げますとレバーがはずれて収納できなくなります。)

1 スイッチを「ON」にしてキワゾリ刃を出す。

キャップは付けたままで使用します。(外刃に髪が入る恐れあるため)

2 キワゾリ刃を直角に軽く当てて、矢印方向にゆっくりそる。(図12)

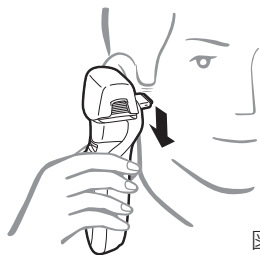


図12

3 使用後は、スイッチを「OFF」にして、キワゾリ刃を収納する。

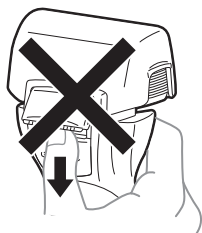


図13

お願い

キワゾリ刃が収納できない場合は無理に押し込まないでキワゾリつまみを上下に1~2回操作すると元に戻ります。(図13)

水洗い

⚠ 警告



電源アダプターは絶対に水洗いしない。また、水につけたり、水をかけたりしない。(感電・ショート・発火の原因)

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
(感電・けがの原因)

交流式では水洗いしない。(ショートの原因)

⚠ 注意



外刃は強く押さえない。(破損して指を傷つける原因)

熱湯を使用しない。(変形・故障の原因)

水中につけ置きしない。(機器の故障の原因)

浴室、トイレ用洗剤などは使用しない。(機器の故障の原因)

ウォーターウィンドウ部に指や異物を入れない。(けが・故障の原因)



快適な切れ味を保つために、2日～3日に1回はお手入れ(水洗いまたはブラシ掃除)する。(切れ味が悪化や毛くず飛散の原因)

水洗いの場合はその都度、ブラシ掃除の場合は週に一度、外刃とキワゾリ刃に付属のシェーバーオイルを注油する。または、別売の潤滑剤(シェーバークリーナー)を吹きつける。

- 内刃の動きを滑らかにします。
- 切れ味を保ちます。
- 刃の磨耗を防ぎます。
- 使用回数の減少を防ぎます。
- 刃の発熱を抑えます。

外刃、内刃および本体は水洗いができます。水洗いだけでは、こびりついた毛くずが取れない場合がありますので、時々掃除用ブラシで取り除いてください。

1 ウォーターウィンドウを開き、ウォーターウィンドウ部に水を注ぎながら、スイッチを「ON」にする。(図14)

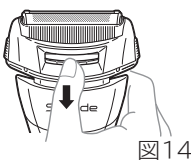


図14

2 約15秒流水を注いだ後、スイッチを「OFF」にする。(図15)



図15

お手入れ

汚れがひどい場合やおちにくい場合

大量の毛くずが中にある場合、水洗いだけでは中の毛くずを取りのぞけない可能性があります。その場合一度外刃ホルダーを取りはずし掃除用ブラシで毛くずを掃除してください。

一度水洗いをした後、外刃に台所用洗剤(中性)を少量つけ、スイッチを「ON」にして約20秒間刃面全体をまんべんなく泡立てたあと、もう一度水洗いをすると汚れが取れます。(図16)

それでも汚れや臭いが取れない場合は、外刃、内刃をはずし台所用洗剤(中性)を少量入れた水またはぬるま湯に8時間ぐらいつけた後、水洗いしますと汚れや臭いが取れます。(図17)

外刃、内刃の取りはずし方・取り付け方は18ページの「外刃・内刃の取り替えかた」を参照ください。

浴室・トイレ用洗剤などは使用しないでください。



約20秒間泡立てる。



図16

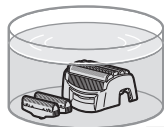


図17

3 本体の水滴をふき取り、乾燥させる。(図18)

- 外刃ホルダーをはずしておくで早く乾燥します。
- 本体を振って水切りしない。(内刃がはずれる原因)
- 直射日光の当たる所、高温になる所では乾燥させない。(防水ゴムの劣化による故障や本体が変形する原因)
- ドライヤーなどの機器で乾燥しない。(故障の原因)
- 子供の手の届くところに置かない。



図18

4 外刃ホルダーを取りつける。(図19)

両側の取外しボタン部から片側づつ「カチツ」と音がするまで押し込みます。乾燥後はウォーターウィンドウを閉じてください。開いたまま使用されると毛くずが飛び散る原因となります。



図19

5 乾燥後、スイッチを「ON」にして付属のシェーバーオイルを外刃とキワゾリ刃の図に示した○印の部分に1滴ずつ注油し、2~3秒後にスイッチを「OFF」にする。ティッシュなどで外刃とキワゾリ刃の表面をふき取り、キャップをかぶせる。(図20)

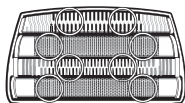
⚠ 注意



乾燥後、必ずシェーバーオイルを外刃とキワゾリ刃に注油する。(切れ味の低下、使用回数の減少、外刃が磨耗して早期破損、刃の発熱などの原因)



図20



- 6** お手入れ後は、湿気の少ないところに保存する。
浴室などに放置すると、本体内部で結露が発生して機器の故障の原因になります。
- 7** 蓄電池の劣化を予防する。
長期間ご使用されない場合は、蓄電池の劣化を防ぐために6か月に一度は5時間充電してください。

ブラシでの掃除

- 1** スイッチを「OFF」にして外刃ホルダーをはずす。(図21)

外刃ホルダー取外しボタンを押しながらはずす。

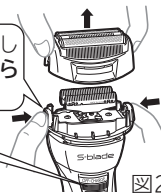


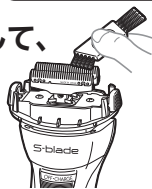
図21

- 2** 外刃、内刃、キワゾリ刃および本体を掃除する。(図22)

スイッチは「OFF」

- 3** 掃除した後は、キワゾリ刃を収納して、外刃ホルダーを取りつける。(図19)

両側の取外しボタン部から片側ずつ「カチッ」と音がするまで押し込みます。



⊘ 外刃の網刃には掃除用ブラシを当てない。

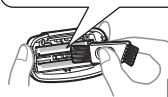


図22

お願い

週に一度は、スイッチを「ON」にして付属のシェーバーオイルを外刃とキワゾリ刃に注油し、2~3秒後にスイッチを「OFF」にしてティッシュなどで外刃とキワゾリ刃表面をふき取ってください。

本体の汚れは、水または薄めた台所用洗剤(中性)を含ませて固く絞った布でふき取ってください。

⚠ 注意



掃除の際にアルコール、ベンジン、シンナーなどは使用しない。(変形・変色の原因)

外刃・内刃の取り替えかた

⚠️ 注意



刃を取り替えるときは、必ず電源プラグを抜いてスイッチを「OFF」にする。(故障の原因)

外刃は強く持たない。(破損して指を傷つける原因)



替刃交換後、必ずシェーバーオイルを外刃とキワゾリ刃に注油する。(切れ味の低下、使用回数の減少、外刃が磨耗して早期破損、刃の発熱などの原因) ・注油箇所は16ページの5頁を参照ください。

内刃は2個同時に交換する。

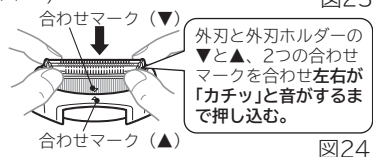
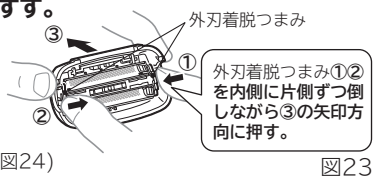
外刃の取り替えかた

1 スイッチを「OFF」にして外刃ホルダーをはずす。

2 外刃をはずす。(図23)

3 新しい外刃を外刃ホルダーに取りつける。(図24)

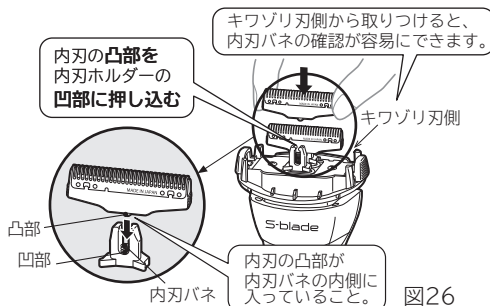
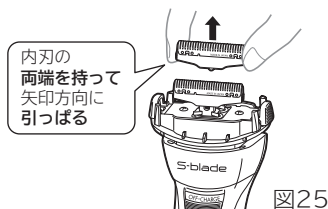
4 外刃ホルダーを取りつける。



内刃の取り替えかた

1 内刃をはずす。(図25)

2 新しい内刃を取りつける。(図26)



「故障かな」と思ったときは

修理を依頼する前に、次の点検をしてください。

症状	点検するところ	直す方法
刃面が熱い。 切れ味が悪い。 内刃の動きが弱い。 使用回数が少ない。	刃の内側に毛くずが多量にたまっていませんか。	掃除とシェーバーオイルの注油を定期的に行ってください。
	刃面が油切れしていませんか。	
	外刃全体を肌にあてていますか。	11ページのじょうずなそりかたを参照ください。
スイッチを「ON」にしたとき、毛くずが飛び散る。 臭いが強くなった。	外刃ホルダーは正しく取り付けられていますか。	16ページの4項を参照ください。 15～17ページのお手入れを定期的に行ってください。
	ウォーターウィンドウは閉まっていますか。	
	毛くずがたまっていませんか。	
	お手入れが不十分ではないですか。	
充電ができない。	スイッチが「ON」になっていませんか。	スイッチを「OFF」にして充電してください。
スイッチを「ON」にしても動かない。	充電切れになっていませんか。	充電してからご使用ください。
	毛くずがたまっていませんか。	15～17ページのお手入れを定期的に行ってください。
	刃面が油切れしていませんか。	

以上のことをお調べになり、それでも異常があるときは、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ホームページに「よくあるご質問」について掲載しておりますのでご利用ください。

http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30 (月～土)
9:00～17:00 (日・祝日)

年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

修理に関するご相談はエコセンターへ

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00～19:00 (月～土)
9:00～17:30 (日・祝日)

携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

保証とアフターサービス (必ずお読みください。)

この商品の保証とアフターサービスについては、日本国内においてのみ適用します。

保証書 (一体)

この商品は保証書つきです。

保証書は、必ず「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

保証期間	お買い上げの日から1年間
------	--------------

修理を依頼されるときは

持込修理

19ページの『「故障かな」と思ったときは』を調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 保証期間中の場合

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎている場合

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ (修理料金 = 技術料 + 部品代)

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

補修用性能部品の保有期間

シーバーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または19ページのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

仕様

定格電圧	AC100-240V 50-60Hz 共用
入力容量	11VA (電源アダプター：KH-48)
消費電力	約2.7W (AC100V充電時)
使用電池	ニッケル水素電池 DC1.2V、2本 定格容量：500mAh (5時間充電時)
充電時間	5時間 (室温10～35℃)
質量	本体 : 約170g 電源アダプター : 約80g
付属品	シェーバーオイル、掃除用ブラシ

消耗部品・別売り部品

替刃・シェーバークリーナーを用意しています。

刃は消耗品です。早めに別売の替刃と交換してください。

交換の目安は、1日1回3分間使用して正しい使いかた(11～14ページ参照)、お手入れ(15～17ページ参照)していただいた場合


・外刃1年半 ・内刃約3年

日立の家電品取扱店でお買い求めください。

替刃： 外刃 K-F35S 内刃 K-W22U

潤滑剤： シェーバークリーナー SC-51H

オイル： 部品番号 CL-324 008

長年ご使用のシェーバーの点検を！	
愛情点検 	こんな症状はありませんか <ul style="list-style-type: none">●電源アダプターが異常に熱くなる。●本体が変形していたり、こげくさい臭いがする。●その他の異常・故障がある。
	ご使用中止 <p>故障や事故防止のため、スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店にご相談ください。</p>

製品を廃棄するときのお願い

この製品には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取りはずしていただき、製品をお買い求めのお店、またはニッケル水素電池のリサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクルへご協力をお願いいたします。



ニッケル水素電池は
リサイクルへ

リサイクル協力店の詳細は、一般社団法人JBRCのホームページ
をご参照ください。 <http://www.jbrc.com/>

蓄電池以外にも、リサイクル可能な部品が含まれています。蓄電池以外の部品の
廃棄に際しましては、お住いの地域の条例などに従って処理してください。

⚠ 危険



取り出した蓄電池は充電や以下のことをしない。
(発熱・発火・破裂の原因)

- 火への投入、加熱をしない。
- くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない。
⊕と⊖を金属などで接触させない。
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保存しない。
- 火のそばや炎天下など高温の場所で放置しない。

⚠ 警告



必ず守る

取り出した蓄電池は乳幼児の手の届くところに置かない。
万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師に相談する。

蓄電池の液が漏れたときは、素手で触れずに以下の処置をする。

- 液が目に入ったときは、目をこすらずに、すぐにきれいな水
で洗ったあと医師に相談する。
- 液が体や衣服に付いたときは、きれいな水で十分洗い流した
あと医師に相談する。

製品を廃棄するとき以外は分解しない。
(火災・感電・けがの原因)

蓄電池の取りはずしかた

⚠ 危険



取りはずした蓄電池はリード線の切り口や電池の端子を、金属を含まないテープ等で絶縁し、互いに接触させない。また、切り口や端子を人体や他の金属に接触させない。(ショート・やけどの原因)

1 シェーバーが完全に動かなくなるまで、スイッチを「ON」にして蓄電池を放電させる。

2 リアカバーのネジ1本を⊕ドライバーではずして、リアカバーの下側(矢印部)を開くようにしながらはずす。(図27)

3 電池ケースを矢印方向に開きながら起こして、電池ケースのネジ2本を⊕ドライバーではずす。(図28)

4 電池ケース側面にあるスイッチレバーをはずす。(図29)

5 本体部をもって、電源部から電池ケースを引き抜く。

6 蓄電池に巻いてある黒いテープを切って蓄電池を取り出し、リード線を電池端子の近くで切る。(図30)

カッターは使用しないでください。誤って電池の表面を傷つける恐れがあります。

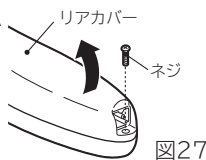


図27

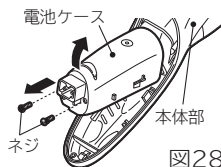


図28

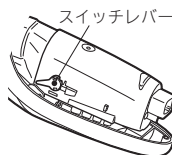


図29

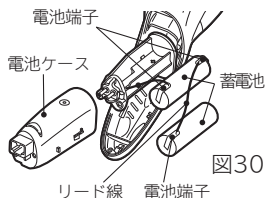


図30

販売元: 日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

〒105-8413 東京都港区西新橋2-15-12

製造元: 日立マクセル株式会社

〒822-1296 福岡県田川郡福智町伊方4680

Product warranty and after-sales service are only valid in Japan.

Preparation before use (P.3~5)

How to charge (P.3)

- Charge before first use.
- Make sure to use the included power adaptor for 100 - 240V AC power.
- The recommended charging temperature is in the range of 10 – 35°C
At a temperature below the recommended temperature, the charging response may slow down, causing an insufficient charge and a reduced number of operating times.
- Each battery has a service life.

If the number of operating times is extremely small in spite of use in accordance with the instructions, it is considered that the battery life is about to expire. For battery replacement, consult with your distributor or customer service representative listed.

(The battery life greatly varies according to the conditions of use and storage.)

⚠ WARNING

Never connect or disconnect to/from the outlet with wet hands. (Cause of electric shocks or injury)

Do not use the power adaptor in a place where water is splashed, such as a bathroom, or in a place with high humidity. (Cause of electric shocks and short circuits)

Wipe away water drops on the main body sufficiently to dry it before charging.

(Cause of burns due to short circuits and heat generation)

Wipe off water droplets if adhered to the main body socket.

1. Turn "OFF" the switch and connect the power adaptor to the main body and outlet.

Charging time is 5 hours.

During charging, the power adaptor and the main body may slightly heat up, this is not abnormal.

When the switch is turned "ON," this cannot be charged.

When the battery is completely discharged, the charge indicator lamp may not light. If charging is continued as it is, the battery will start to be charged after the charge indicator lamp has lit.

Please use another outlet if noise is generated from the TV, etc., during charging or operation.

2. After completion of charging, disconnect the power adaptor.

With one charge, it can be used for approximately 10 days (3 minutes of use per day).

(The number of operating times may decrease depending on the operating conditions, such as beard thickness, pressing force to skin, method of maintenance, and low ambient temperature.)

Time to charge (P.4)




If the charge requesting lamp "POWER" (orange) goes out during operation, this indicates that charging is required. Charge in good time.

Names of parts and their functions (P.6)





- ① **Cap** : Protects the outer blade.
- ② **Outer blade**
(Replacement blade K-F35S)
A compensation effect for long beards or rough beards can be increased by the four-blade structure including two net blades and two trimmers.
- ③ **Outer blade removal button**
- ④ **Outer blade holder**
- ⑤ **Water window**
- ⑥ **Inner blade**
(Replacement blade K-W22U)
- ⑦ **Inner blade holder**
- ⑧ **Switch**
Slide while pressing the lock button.
- ⑨ **Lock button**
- ⑩ **Charge requesting lamp "POWER"** (orange)
If the lamp goes out, this indicates that charging is required.
 - Does not light during charging.
- ⑪ **Charge indicator lamp**
During charging: The lamp lights (red).
After completion of charging: The lamp does not go out.
- ⑫ **Outer blade holder removal button**
Do not press during use.
- ⑬ **Batteries** (built-in)
Ni-MH batteries: two
- ⑭ **Body socket**
- ⑮ **Trimming blade**
Use this blade when shaving a long beard that is hard to shave with the outer blade, and when trimming a beard, sideburns, and the nape of the neck.
- ⑯ **Trimming knob**
Slide upward to allow the trimming blade to pop up.
- ⑰ **Center trimmer**
- ⑱ **Fine-cut trimmer**
- ⑲ **Power plug** : Insert into an outlet to the ends.
- ⑳ **Plug for equipment**
- ㉑ **Cord**
- ㉒ **Cleaning brush**
- ㉓ **Shaver oil**

Safety precautions (P.7~10) Never fail to observe

- Items described here are for using the product safely and properly, and to prevent hazards and injury to the user and other persons before they occur.
- Items are classified as follows.
All items are important descriptions related to safety, therefore make sure to observe them.

 DANGER	Extent of imminent hazard which has the potential to cause death or serious injury to the user in the case of improper handling.
 WARNING	Extent of hazard which has the potential to cause death or serious injury to the user in the case of improper handling.
 CAUTION	Extent of hazard or damage which has the potential to cause injury to the user or damage to physical property (houses and household goods) in the case of improper handling.






<Example of graphic illustration>

-  This symbol means "prohibited" (never do this).
-  "Disassembly prohibited"  "Prohibited use in wet location"  "Prohibited to wet"


-  This symbol means "compulsory" (be sure to do).
-  "General activities"  "Pull out the power cord from outlet"

- After reading this manual, the user should preserve it in a place where it can be referred to at any time.

WARNING

-  Use only 100 - 240V AC for power supply. (Cause of fires and electric shocks)
Never allow pins or dust to adhere to the power plug and plug for equipment.
(Cause of electric shock, short circuit and ignition)
Never use a power cord if they are damaged or insertion to the outlet is loosened.
(Cause of electric shocks, short circuits and ignition)
Never place the shaver within reach of children. (Cause of injury)
Do not damage, unnecessarily bend, pull, twist, bind, place a heavy object on top, sandwich, process or wind the power cord around the power adaptor, etc.
(If the power cord breaks, fires or electric shocks may occur.)
-  Never wash the power adaptor with water. Also, never soak them in water or splash water on them.
(Cause of electric shocks and short circuits)
Never foam-shave or clean with water while using the AC.
(Cause of electric shocks and short circuits)
-  Do not use the power adaptor in a place where water is splashed, such as a bathroom, or in a place with high humidity. (Cause of electric shocks and short circuits)
-  Be sure to disconnect the power cord from the outlet for maintenance. Never connect or disconnect the power plug to/from the outlet with wet hands. (Cause of electric shocks or injury)
-  Never modify the shaver. Only a qualified technician may make repairs.
(Cause of fires, electric shocks or injury) •Consult your distributor for repair.

CAUTION

-  Check for any breakage or deformation of outer blade before use. (Cause of damage to skin)
The outer blade wears each time it is used. When wear proceeds, breakage of blades may occur during use and cause damage to skin. Replace it with a separately sold replacement blade as soon as possible.
Never use any other power adaptor than the ones included.
Also, do not charge any other product with the included power adaptor.
(Cause of fires by short circuits or abnormal heating)
When disconnecting a power plug for equipment, do not pull the cord, but be sure to pull the plug to disconnect. (Cause of electric shocks, short circuits or ignition)
Regularly clean the power plug and plug for equipment so that dust does not form on them.
(Cause of electric shocks, short circuits or ignition)

Do not apply the trimming blade directly to ears and nose. (Cause of injury to ears and nose)

Use carefully if you have acne or abrasions on skin. (Breakage causes damage to skin)

Wipe away water drops on the main body sufficiently, and charge in dry state.

(Cause of short circuits, burns due to heating)

After drying, be sure to apply the shaver oil to the outer blade and trimming blade.

(Cause of deterioration in sharpness, reduction in the number of operating times, early breakage due to abrasion of the outer blade, heat generation of the blade, etc.)

In case of accidental ingestion of shaver oil, force person to drink a large amount of water to vomit the oil, and seek medical attention. (Cause of damage to physical condition)

In case of accidental entry of shaver oil into eyes, immediately wash with a sufficient amount of flowing water and seek medical attention. (Cause of eye impairment)

After operation, keep it in a place free from moisture. (Cause of damage to the shaver if left in a bathroom due to condensation and rust occurring inside the main body)

After use, make sure to put on the cap.

(Cause of damage to skin by breakage or deformation of the outer blade)

Wipe off water droplets if adhered to the main body socket.

Be sure to check the voltage of the outlet before use. (Cause of fire or electric shock)



This is used for shaving only. Never use it for other (for hair, etc.) than shaving.

(Causes of damage to skin and shortening the life of the outer blade.)

Never share the shaver with family members or others. (Cause of infection or inflammation)

Never push the blades strongly. (Cause of damage to skin especially lips or damage to the shaver.)

Never bring fingers or nails into contact with the outer blade during use.

(Cause of damage to the outer blade resulting in damage to skin)

Never touch the cutting edge of the inner blade with bare hands. (Cause of injury to fingers)



Disconnect the power plug from the outlet when it is not used.

(Cause of injury, burns, or electric shocks and fires from electric leakage due to insulation degradation)

Safety precautions (P.10)

- Never use cream or gel shaving agents.
Cause of clogging and damage to the blade.
- Never soak the blade in water.
Cause of damage to the shaver.
- Do not charge at each time of use.
When the shaver stops moving, do not leave it with the switch turned "ON."
Cause of impairment of the battery performance.
- Never allow to dry or leave it in a place exposed to direct sunlight and high temperatures.
Cause of damage to the shaver due to deformation and deterioration of the waterproof rubber.
- Never wipe the shaver or the power adaptor with alcohol, benzene, and thinner, etc.
Cause of deformation and discoloration.

How to use (P.11~14)

How to shave with the outer blade (P.11)

CAUTION

Check that there is no breakage and deformation of the outer blade before use. (Cause of damage to skin)

Use carefully if you have acne or abrasions on skin. (Breakage causes damage to skin)

Never press it strongly to the skin.

(Cause of damage to skin especially lips and cause of damage to the outer blade)

Never shave with only a part of the outer blade or bring fingers or nails into contact with the outer blade during use. (Cause of damage to the outer blade resulting in damage to skin)

For initial use, trim while lightly applying the shaver to skin.

1. Remove the cap, and turn the switch to "ON" while pressing the lock button.
 - Check that the water window is closed.Use with the water window is open will cause beard clippings to scatter.
2. Shave in the direction of the arrow against the flow of your beard so as to slide lightly.
The recommended operating temperature is in the range of 10 – 35°C.
Use or storage at a temperature below the recommended temperature may disable the shaver or cause a reduced number of operating times.
How to shave closely
 - (1) Stretch your skin with one hand to raise your beard.
 - (2) Lightly apply the entire outer blade to skin.
 - (3) Lightly apply, and slowly shave against the flow of your beard so as to slide.
 - To shave a long grown beard that is hard to shave with the outer blade:
Cut a long grown beard short with the trimming blade, and finish with the outer blade.
3. After use, turn the switch to "OFF" and attach the cap to the shaver.

■ You can also shave with soap (shaving foam). (P.12)

⚠ WARNING

Never soap-shave with alternating current. (Cause of short circuits)

Never press on the skin strongly. (Cause of damage to skin and breakage of outer blade)

⚠ CAUTION

Never use shaving agents in cream or gel form. (Cause of blade clogging)

Use of commercially available shaving foam results in better sliding on skin and closer shaving.

1. Lather your face well.
2. Apply to your skin more lightly than when you shave in a dry state (without using shaving foam), and slowly shave against the flow of your beard so as to slide.
3. After use, make sure to wash off the soapy components with water.
For how to wash with water, see the "Maintenance".
If any soapy components remain, it will lead to failure of the equipment, or cause deterioration in sharpness, reduction in operating times, etc.
4. After maintenance, lubricate and keep the shaver in a place free from moisture.
Leaving the shaver in a bath, etc., will cause failure due to dew condensation inside the body.

How to use with alternating current (P.13)

⚠ WARNING

Never use in places splashed with water, such as in a bath, or in humid places.

(Cause of electric shocks or short circuits)

Never soap-shave or wash with water. (Cause of electric shocks or short circuits)

1. Connect the power adaptor to the body and an outlet, and turn the switch to "ON."
 - If the batteries are completely discharged, the shaver may be hard to start. In this case, charge for approximately one minute by turning the switch to "OFF" before use.
2. After use, turn the switch to "OFF" and remove the power adaptor from the outlet and body.

How to shave with the trimming blade (P.14)

⚠ CAUTION

If a lot of hair enters the blade edge, the hair will be pulled, or get stuck, causing deterioration in sharpness.

Never press the blade edge to the skin strongly or slide sideways. (Cause of damage to skin)

Do not put your finger on the top of the trimming knob.

(Otherwise, the trimming blade will come into contact with your finger when storing.)

If the trimming knob slides down while the trimming blade is makes contact with your finger, the lever will be removed and the blade will no longer be stored.)

1. Turn the switch to "ON" to allow the trimming blade to pop up.
Use the shaver with the cap attached. (Head hair may get inside the outer blade.)
2. Lightly apply to your sideburns at right angles, and slowly shave in the direction of the arrow.
3. After use, turn the switch to "OFF" to store the trimming blade.

Please note

If the trimming blade cannot be stored, slide the trimming knob up and down once or twice to return it without forcibly pushing it in.

Maintenance (P.15~17)

Washing with water (P.15)

⚠ WARNING

Never wash the power adaptor with water. Also, never soak them in water or splash water on them.

(Cause of electric shocks and short circuits)

Be sure to disconnect the power cord from the outlet for maintenance.

(Cause of electric shocks or injury)

Never wash with water while using the AC. (Cause of electric shocks)

⚠ CAUTION

Never push the blades strongly. (Cause of damage to skin especially lips or damage to the shaver.)

Do not use hot water. (Cause of deformation or failure)

Never soak in water. (Cause of failure)

Never use bathroom or toilet cleaner, etc. (Cause of failure)

Do not put fingers or foreign substances in the water window part. (Cause of injury or failure)

Carry out maintenance (clean with the brush) at least once every two to three days.

If beard clippings accumulate, loss of sharpness will result or beard clippings will scatter.

Each time in the case of washing with water, once a week in the case of brush cleaning, apply the included shaver oil or separately sold lubricant (shaver cleaner) to the outer blade and trimming blade.

- Smoothens inner blade movement.
- Keeps sharpness.
- Prevents the blade from wearing.
- Prevents reduction in the number of uses.
- Keeps the blade from heating up.

The outer blade, inner blade and body can be washed with water.

Since clotted hair may not be removed by simply washing with water, occasionally remove it by using a cleaning brush.

1. Open the water window, and turn "ON" the switch while pouring water over the water window part.
2. Pour running water for approximately 15 seconds, and then turn "OFF" the switch.

Advice

If a large amount of beard clippings accumulate inside, the internal beard clippings may be hard to remove by simply washing with water. In such a case, remove the head holder and the outer-inner blade assembly once, and clean the beard clippings with the cleaning brush.

If buildup is severe or difficult to remove, wash with water, apply a small amount of kitchen detergent (neutral) to the outer blade, turn "ON" the switch, and evenly foam the entire surface of the blade for approximately 20 seconds. Then, wash the shaver once again to remove buildup.

- If buildup still cannot be removed, remove the outer blade and inner blade, soak the shaver in water or lukewarm water containing a small amount of kitchen detergent (neutral) for approximately eight hours, then wash it with water to remove buildup.

Please refer to "How to replace the outer blade and inner blade" .

Never use bathroom or toilet detergents, etc.

3. Wipe water drops off the body, and dry.
 - If the outer blade holder is removed, quick drying will result.
 - Never shake the main body to drain off water. (Cause of disconnection of inner blade)
 - Never dry in places exposed to direct sunlight or high temperatures.
(Cause of failure by degradation of water-proof rubber or deformation of the body)
 - Never dry with a dryer, etc. (Cause of failure)
 - Keep out of reach of children.
4. Install the outer blade holder.
 - Push down the both ends of the outer blade holder removal button until it clicks.
 - After drying, close the water window. Using it left open will cause beard clippings to scatter.
5. After drying, turn "ON" the switch, apply the included shaver oil to the outer blade and trimming blade as shown in the illustration, and after 2 to 3 seconds, turn "OFF" the switch.
Wipe the surfaces of the outer blade and trimming blade with tissue, etc., and put on the cap.

⚠ CAUTION

After drying, be sure to apply the shaver oil to the outer blade and trimming blade.

(Prevents a reduction in sharpness, a decrease in the number of rotations of the motor, a reduction in the number of times of use, early breakage due to abrasion of the outer blade, or heat generation of the blade.)

6. After maintenance, keep the shaver in a place free from moisture.

- Leaving the shaver in a bath, etc., will cause failure due to dew condensation inside the body.

7. Prevent deterioration of the battery.

- If the shaver is not used for a long time, charge it for 5 hours once every six months to prevent deterioration of the battery.

Brush cleaning (P.17)

1. Turn the switch to "OFF" and remove the outer blade holder.

2. Clean the outer blade, inner blade, trimming blade, and body.

3. After cleaning, store the trimming blade, and install the outer blade holder.

Push down the both ends of the outer blade holder removal button until it clicks.

Recommended

- Once a week, turn "ON" the switch, apply the included shaver oil to the outer blade and trimming blade, and after 2 to 3 seconds, turn "OFF" the switch, and wipe the surfaces of the outer blade and trimming blade with tissue, etc.
- Wipe away any contamination on the body with a cloth wrung tightly after being moistened with water or watered-down kitchen detergent (neutral).

⚠ CAUTION

Never use alcohol, benzene, thinner, etc. (Cause of deformation or discoloration)

How to replace the outer blade and inner blade (P.18)

⚠ CAUTION

When replacing the blade, be sure to disconnect the power plug, and turn the switch to "OFF".

(Cause of injury)

Never hold the outer blade strongly. (Breakage causes damage to fingers.)

Be sure to apply the included shaver oil after replacement of the blade.

For application points, see Section 5 on page 16. (Cause of disabled inner blade or hot blade surface)

Replace the two inner blades at the same time.

How to replace the outer blade

1. Turn the switch to "OFF" and remove the outer blade holder.

2. Remove the outer blade.

3. Install a new outer blade to the outer blade holder.

4. Install the outer blade holder.

How to replace the inner blade

1. Remove the inner blade.

2. Install a new inner blade.

- Installation from the trimming blade side facilitates checking of the inner blade spring.

日立シェーバー保証書

持込修理

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合には、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型 式	RM-F16J		
保 証 期 間	本体：1年（外刃・内刃は除きます。）		
※お買い上げ日	平成	年	月 日
※お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 電話 ()	
※販売店	住所名	〒 電話 ()	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 業務用など一般家庭以外で使用されて生じた故障または損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - この商品は持込修理の対象商品です。郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様の負担となります。また、出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 贈答品などで本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、取扱説明書に記載の「お客様ご相談窓口」にご相談ください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
 - お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。
 - 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

◎日立コンシューマ・マーケティング株式会社 リビングサプライ社

〒105-8413 東京都港区西新橋2-15-12 電話 お客様相談センター 0120-3121-11